

令和2年度 自己評価報告書

群馬県高等歯科衛生士学院

令和2年度重点目標に対する結果

歯科衛生士としての知識と技術の指導は基より、人として何より大切な優しさや思いやりのある人材の育成

[具体的な目標値]

①目標項目: 実習中の医療事故・同じ内容のインシデント数			
◇2年度目標値:	0 件 (元年度)	0 件 /	学生の針刺し事故 4 件
			傷害事故 0 件
	(30年度)	0 件 /	学生の針刺し事故 0 件
			傷害事故 0 件
インシデント数:	報告されていない	0 件	
実習中の針さし事故については		4 件	傷害事故 0 件
評価:	「 2.7 」		

②目標項目: 国家試験合格率			
◇2年度目標値:	100 % (元年度)	98 % (30年度)	100 %
令和 2 年度卒業 50 期生について、5名不合格。合格率			90.6 %
評価:	「 2.6 」		

③目標項目: 県内就職率			
◇2年度目標値:	100 % (元年度)	81.2 % /	44 名 (県内 36 名)
			(県外 8 名)
	(30年度)	88.2 % /	51 名 (県内 45 名)
			(県外 6 名)
卒業生 53 名のうち、48 名が就職を希望し、県内に 45 名、県外に 3 名が就職。県内就職率は	93.8 %		
評価:	「 3.7 」		

④目標項目: 定員数の確保			
◇2年度目標値:	50 名 (元年度)	42 名 /	指定校推薦 (27 名)
			公募推薦 (6 名)
			自己推薦 (2 名)
			一般入試 (3 名)
	(30年度)	54 名 /	指定校推薦 (29 名)
			公募推薦 (11 名)
			自己推薦 (1 名)
			一般入試 (1 名)
定員数 50 名のうち、60 名が入学。入学定員充足率は			120 %
評価:	「 3.8 」		

⑤目標項目: 教員の指導力の向上			
◇2年度目標値:	100 % (元年度)	97.8 % (30年度)	100 %
新たな知見の解明、治療法の進捗、機器の開発など歯科医療の進展や学生を取り巻く社会環境の変化に対応し、教員の指導力を高めていく必要がある。このことから、専任教員などが学会や研修会などの各種機会に積極的に参加していく。			
参加率	75 %		
評価:	「 2.9 」		

令和2年度重点目標に対する評価と意見

【評価数値】

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや適切 1:不適切

各評価項目の評価値の平均値を「評価」とし、小数点以下1桁までの数値で表示した。

①今年度の重点目標の達成の度合いはどの程度だと思いますか。

令和2年度重点目標		評価
1	臨床実習において、より一層の知識・技術力の向上に取り組むとともに、医療人として人間性豊かな社会性を身につけることを目指す。	2.7
2	患者等に対し安全な歯科衛生の技術が提供でき、科学的思考と主体的実践能力を備えた人材を育成し、国家試験合格率100%を目指す。	2.6
3	群馬県の歯科医療の充実を図るため、県内医療機関等への就職率の向上を図る。	3.7
4	少子化が進み、入学希望者の減少が予測される。オープンキャンパス、高校訪問等を実施し、収容定員を満たすよう学生確保に努める。	3.8
5	教員の指導力を高めていくため学会や研修会などの各種機会に積極的に参加していく。	2.9

②今年度の重点目標に対する取り組みで良かった点、不十分な点を具体的に上げてください。

- ・ 高等学校で開催される進学ガイダンスの積極的な参加により、学生入学定員をみたすことができた
- ・ 国家試験対策の一つとして、放課後の補習を実施したり、自主勉強のために学校を開放した。
- ・ 感染予防に対する知識や行動は実践できた。
- ・ コロナ禍により、校内実習や臨床実習を十分に実施できなかった。
また教職員も学会や研修会など中止になるものが多く、参加できなかった。
- ・ 手厚い指導を心がけたが、国家試験100%を達成することができなかった。

③来年度に向け、目標達成のため効果があると思われる取組があればご記入ください。

- ・ 学生への新型コロナワクチン接種の実施
- ・ 国家試験対策として放課後教室回報し、勉強環境の整備
- ・ オープンキャンパスの成功
- ・ 高校訪問
- ・ 高校開催のガイダンスに積極的に参加する
- ・ 校外臨床実習において、少しでも技術向上ができるように、コロナ禍でも行える実習内容を検討して指定医院に提示する
- ・ コロナ感染予防対策を徹底した上で、従来の教育方法を採用し、習得すべき知識や技術を身に付けられるように進めていく。

④今年度の重点目標の他に、来年度重点的に取り組んだら良いと思われることがあればご記入ください。

- ・ 国家試験100%合格を目標とする
- ・ 再度の道の感染症が蔓延した時に備え、感染拡大を防止できるように、リモートによる教育が行えるように設備を整える必要がある。
- ・ 学生のモチベーションを高めるための活動。(現役の歯科衛生士の講演や他校との交流等)
- ・ 1、2年生への学力向上のための取り組み

令和2年度「学校評価」自己評価集計結果

評価分野	学院が設定する評価項目	評価
1 教 育 理 念	1 理念・目標・育成人材像は定められているか(専門分野の特性は明確になっているか) 2 社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか 3 理念・目標・育成人材像等は学生や保護者に周知されているか 4 各学科の教育目標、育成人材像は、職業領域のニーズに向けて方向付けられているか	3.0
2 学 校 運 営	5 学校の設置目的に沿った運営方針が策定されているか 6 一運営方針に沿った事業計画が策定されているか 7 運営組織や意志決定機能は規程等において明確化され、有効に機能しているか 8 人事・給与に関する制度は整備されているか 9 教務・財務の意志決定システムは整備されているか 10 各職業領域の法を遵守し、公平公正に業務に従事するような体制が整えられているか 11 教育活動に関する情報公開が適切になされているか 12 情報システム化等による業務効率化が図られているか	3.0
3 教 育 活 動	13 教育理念に沿った教育課程の編成がなされているか 14 教育理念・育成人材像や職業領域のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか 15 カリキュラムは体系的に編成されているか 15 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか 17 病院、診療所などの管理者、指導者等からの意見を聞き、カリキュラム運営の参考にしているか 18 関連分野において、実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか 19 授業評価の実施・評価体制はあるか 20 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 21 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 22 職業領域からの優れた講師の確保などマネジメントが行われているか 23 職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.3
4 学 業 成 果	24 就職率の向上は図られているか 25 資格取得率の向上は図られているか 26 退学率の低減は図られているか 27 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 28 卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校教育活動の改善に活用されているか	2.8
5 学 生 支 援	29 就職に関する支援体制は整備されているか 30 学生相談に関する体制は整備されているか 31 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか 32 学生の健康管理を担う組織体制はあるか 33 学生の生活環境への支援は整備されているか 34 保護者と適切に連携しているか 35 卒業生への支援体制はあるか 36 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.5

令和2年度「学校評価」自己評価集計結果

評価分野	学院が設定する評価項目	評価
6 環境教育	37 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 38 学内外の実習施設について、十分な教育体制を整備しているか 39 防災に対する体制は整備されているか	3.5
7 学生募集	40 学生募集活動は適正に行われているか 41 学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.5
8 財務	42 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか 43 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 44 財務について会計監査が適正に行われているか 45 財務情報公開の体制整備はできているか	4.0
9 法令遵守等	46 法令、専修学校設置基準等の遵守と運営がなされているか 47 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 48 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか 49 自己評価結果を公開しているか	3.3
10 その他		